

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
 高度管理医療機器 大動脈カニューレ 35565100
 （大静脈カニューレ 34904100）

体外循環用カニューレ フレックスメイト

（一段脱血カニューレ INKN-SR-Q）

再使用禁止

【警告】

- ・本品と人工心肺血液回路を接続する際、アルコールやアルコールベースの液体は使用しないこと。
- ・本品の位置を直す場合は、必ず直視下で行うこと。
- ・本品ワイヤー部にはクランプを施さないこと。[本品内部の損傷や血流を妨げる恐れがあります。]
- ・本品に鋭利なものを当てないこと。[本体が損傷し、空気を引き込恐れがあります。]
- ・ラージフロー脱血カニューレの場合
先端チップ部分には鉗子等を使用しないこと。[先端チップが破損する恐れがあります。]
- ・脱血不良が発生した場合には本品の挿入位置を少しずらし、適正な脱血量が得られるかを確認すること。[サイドホール等が血管壁に当たり、適正な脱血量が得られないことが予測されます。確認を行っても改善されない場合には人工心肺回路、リザーバ、人工肺及び人工心肺装置等の操作に異常がないかを確認すること。又、生理的現象（血液ボリュームバランス等）に異常がないか確認すること。]

【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止
- ・再滅菌禁止

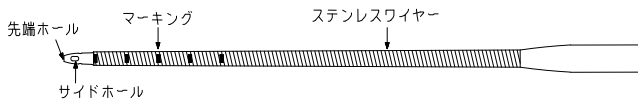
【形状・構造及び原理等】

本品はポリ塩化ビニル（可塑剤：フタル酸ジ（2-エチルヘキシル））を使用している。

一段脱血カニューレ ストレート

商品番号

INKN-S2-22Q, INKN-S2-24Q

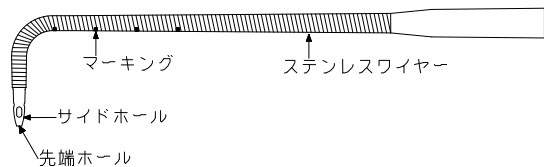


コネクター接続口：3/8”

一段脱血カニューレ ライトアングル

商品番号

INKN-R2-22Q, INKN-R2-24Q



コネクター接続口：3/8”

本品は体外循環用カニューレであり、患者の右房、上大静脈及び下大静脈等へ挿入し本品内径部より血液を取り出す。

本品は人工心肺回路に接続して使用する。

【使用目的又は効果】

本品は心臓手術の際に、一時的に使用する人工心肺ディスポーザブルセットに接続して使用する。具体的には脱血用カニューレは人工心肺回路の脱血用回路に、送血用カニューレは人工心肺回

路の送血回路に、順行性冠灌流（アンテプレジア）用カニューレ、逆行性冠灌流（レトロプレジア）用カニューレ及び心筋保護用部品は心筋保護液注入用回路に、経皮挿入用カニューレはPCPS用の血液回路に、その他のカニューレは吸引用や輸液用等の回路に、それぞれ接続して使用することを目的とする。

【使用方法等】

使用方法の一例

1. 挿入前及び挿入

- (1) 一般的な外科手術に基づき、必要に応じて右心耳、上大静脈、下大静脈等へタバコ縫合を置き、それぞれにターニケットを通しておく。
- (2) 右心耳あるいは上大静脈より挿入する場合は、タバコ縫合中央部を2本の鉗子等で把持しメス等で切開して本品を適切な位置まで挿入する。
下大静脈の場合は、鉗子等を使用せず下大静脈のタバコ縫合中央部をメス等で切開し本品を適切な位置まで挿入する。

注意：心臓に触れると不整脈を誘発したり、圧迫で血圧低下が発生する可能性がある。その場合には、大動脈送血及び右心耳もしくは上大静脈脱血で部分体外循環をしてから下大静脈への挿入を行うこと。

- (3) 本品から血液を少量流出させ、適切な静脈血灌流が得られるかを確認する。
- (4) 人工心肺回路と接続し、必要に応じて本品をターニケットで固定する。

2. 抜去

- (1) 本品を抜去し、術野での出血を一般的な外科手順において処置する。

【使用上の注意】

使用注意（次の患者には慎重に適用すること）

- ・本品は一般体外循環手術時における上大静脈及び下大静脈からの脱血を目的としています。よって当該使用目的以外には使用しないこと。

- ・本品使用時にはACT400秒以上を維持し、血液を十分にヘパリン加すること。

重要な基本的注意

- ・本品の使用は用法を熟知した外科、心臓血管外科、胸部外科及び救命救急部の医師に限ること。
- ・本品及び包装に破損、その他の異常が認められた場合は使用しないこと。
- ・本品は滅菌医療機器であり、滅菌包装の開封は使用直前に行いかつ滅菌包装内の本品の取り出しは清潔域にて行うこと。
- ・本品使用後は血液による汚染を避けるため、十分な措置をとった後に一般廃棄物と区別して処理すること。
- ・本品の内容が目的とする仕様（例えば脱血用、送血用またはその他の使用目的）に合致していることを確認した後、使用すること。
- ・本品の仕様・外観等は改良のため予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・病院内での運搬・保管・操作の不注意によって本品に不具合が生じたと考えられる場合には補償はできません。
- ・不注意による不適切な取扱い、誤使用により発生するあらゆる人的被害については責任を負いかねます。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

- ・水のかからない場所に保管すること。
- ・高温多湿及び直射日光を避けて保管すること。
- ・化学薬品の保管場所やガスの発生する場所には保管しないこと。

有効期間

- ・本品滅菌袋に貼付されているラベルに記載。「自己認証による。」

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者及び製造業者

泉工医科工業株式会社

埼玉県春日部市浜川戸 2-11-1

お問い合わせ先

泉工医科工業株式会社 商品企画

TEL 03-3812-3254 FAX 03-3815-7011